

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ウ	安定した工業用水・エネルギーの提供	施策	① 工業用水・エネルギーの安定的確保の促進	
			施策の小項目名	○電力エネルギーの安定供給	
主な取組	海底ケーブル新設・更新の促進			実施計画記載頁	291
対応する主な課題	②経済特区等への企業立地の伸張で必要とされる高圧電力供給設備の整備及び離島等条件不利地域での産業インフラとしての電力基盤の整備等、低コストでの安定供給が図られるよう取組を促進する必要がある。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		29	30	31	32	33
離島における電力の安定的かつ適切な供給を確保するため、海底ケーブルの新設・更新に対する補助を行い、離島の安定した生活の確保を図る。			西表島～ 鳩間島	慶良間諸島	伊是名島～ 伊平屋島 石垣島～竹 富島～小浜 島～西表島 西表島～ 新城	備瀬崎～ 伊江島
実施主体	電気事業者					
担当部課【連絡先】	商工労働部産業政策課		【098-866-2330】		離島へ電力を供給する海底ケーブルの新設・更新の促進	

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位:千円)

予算事業名							H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
主な財源	実施方法	H25年度 決算額	H26年度 決算額	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算見込額	H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
							当初予算額	主な財源	○H29年度: 電気事業者と連携を図りながら、海底ケーブルの更新・新設の促進を図る。	
小規模離島電力安定供給支援事業									○H30年度: 電気事業者と連携を図りながら、海底ケーブルの更新・新設の促進を図る。	
一括交付金(ソフト)	補助	—	137,000	592,060	—	—	—			
—									○H29年度: —	
主な財源	実施方法	H25年度 決算額	H26年度 決算額	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算見込額	H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
							当初予算額	主な財源	○H30年度: —	
		—	—	—	—	—	—			

様式1(主な取組)

活動指標名	離島へ電力を提供する海底ケーブルの新設・更新の促進				H29年度			H29年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要				
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B							
					協議実施	協議実施	100.0%	0	順調	電気事業者と新設・更新箇所の優先順位について協議を実施した。				
活動指標名	—				H29年度									
実績値										0	順調	進捗状況の判定根拠と取組の効果		
活動指標名	—				H29年度									
実績値												0	順調	海底ケーブルの新設・更新に向けて、電気事業者と新設・更新箇所の優先順位について協議を継続している。
活動指標名	—				H29年度									
実績値														
(2)これまでの改善案の反映状況														
平成29年度 of 取組改善案						反映状況								
<p>①離島における電力の安定的かつ適切な供給を確保するため、経年劣化した海底ケーブルの更新や新たな海底ケーブルの設置を促進する。</p> <p>②海底ケーブルの円滑な新設・更新を実施するため、電気事業者の年度別計画や台風など気象条件等への対応、工期の見直しに適切に対応する。</p>						<p>①今後の海底ケーブルの新設・更新の計画について、電気事業者との協議を行った。</p> <p>②海底ケーブルの新設・更新計画について適宜確認を行った。</p>								



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

#### (1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

##### ○内部要因

・電気事業者は海底ケーブルの新設・更新の優先順位をつけて効率的かつコストをおさえた工事を検討する必要がある。

##### ○外部環境の変化

・離島への観光客の増加など、電力需要の上昇が懸念される。

・耐用年数が経過しているケーブルもあるため、離島の電力安定供給のために、更新を促す必要がある。

#### (2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・電気事業者との協議のもと、海底ケーブルの劣化を抑えるための取組についても検討する。

### 4 取組の改善案(Action)

・海底ケーブルの新設・更新については多くの費用がかかるため、電気事業者はコスト削減策等を慎重に検討する必要がある。

・引き続き電気事業者と協議を行い、耐用年数が経過しているケーブルについては更新を促していく。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ウ	安定した工業用水・エネルギーの提供	施策	① 工業用水・エネルギーの安定的確保の促進	
			施策の小項目名	○電力エネルギーの安定供給	
主な取組	電力自由化への対応			実施計画記載頁	291
対応する主な課題	②経済特区等への企業立地の伸張が必要とされる高圧電力提供設備の整備及び離島等条件不利地域での産業インフラとしての電力基盤の整備等、低コストでの安定供給が図られるよう取組を促進する必要がある。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		29	30	31	32	33
電力自由化に関する県内外の動向について情報収集を行う。						
		国及び県内外の動向にかかる情報収集等				
実施主体	県、国					
担当部課【連絡先】	商工労働部産業政策課		【098-866-2330】			

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況 (単位:千円)

予算事業名	—						H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度 決算額	H26年度 決算額	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	○H29年度: 国等が主催する会議等へ出席して情報共有を図ると共に関係機関との意見交換等を行った。 ○H30年度: 引き続きこれらの関連する会議へ出席し、情報収集を行う。
予算事業名	—						H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度 決算額	H26年度 決算額	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	○H29年度: — ○H30年度: —

様式1(主な取組)

活動指標名	情報収集				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
実績値	—	—	—	—	情報収集	情報収集	100.0%	0	順調	県内における電力自由化の取組について調査を行い、進捗状況の把握等を行った。
活動指標名	—				H29年度					
実績値										
活動指標名	—				H29年度					
実績値										進捗状況の判定根拠と取組の効果 国が主催する制度設計専門会合の議論等を踏まえ、県内における電力自由化の取組について調査を行い、進捗状況の把握等を行った。
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案								反映状況		
①特になし。								①特になし。		



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・特になし。

○外部環境の変化

・本県は、本土から独立した電力系統であるため、広域的な電力流通ができず、安定供給できる電源の選択肢が限られていることや、多くの離島を抱える島しょ地域であるため、電力自由化が進みにくい状況にある。

・県内における電力市場活性化のためには、電気事業者の自発的な取組が不可欠である。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・関係機関との意見交換等を実施し、引き続き情報収集を図っていく。

・県内の電力市場活性化に向けて、制度の周知等を図っていく。

### 4 取組の改善案(Action)

・関係機関との意見交換等を実施し、引き続き情報収集を図っていく。

・県内の電力市場活性化に向けて、制度の周知を図っていく。